

「オール京都体制で進める総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」（京都府）」

課題（状況）

- ・公労使が一堂に会した「京都雇用創出活力会議」で地域事情に即した就業支援をきめ細かく実施することを決定
- ・若年者、女性、中高齢者も含め就業を総合的に支援するハローワークを取り込んだ「京都ジョブパーク」を開設

目標（数値）

- 多様な就業支援から必要な生活支援等までワンストップで総合的に支援
- ・障害者も含めた多様な求職者の支援
- ・生活支援が必要な求職者への支援
- ・人づくり事業によるスキルアップ支援
- ・障害者雇用に関する企業支援

具体的取組

- ①・若者向けワンストップ就業支援開始
- ・就業サービス対象者の拡大・ハローワークとの一体化（中高年、マザーズ、障害者、生活支援が必要な求職者への自立就労支援）
- ・中小企業人材確保センター開設
- ・大学生/留学生へのキャリア形成等一貫支援（研修・訓練、企業とのマッチング支援など）
- ・京都JPカレッジ事業（企業が求める社会人基礎力を個々の状況を診断・研修を実施）
- ⑥・ワンストップ、担当制によるきめ細かな指導とマッチングまでの一貫した指導体制
- ・それぞれのニーズ・事情に即した専門的人材によるサービス提供・生活支援等（子育て女性への一時保育の実施など）
- ・CS調査実施等利用者起点の業務見直し
- ・多様な支援メニューと役割・責任体制の整備

・地方自治体が行政を総合的に実施できるよう出先機関の事務・権限移譲の方針が出された

規制

職業紹介に加え、雇用保険、助成金事業等ができるよう県気に錠を提案、国の了承を得て事業を拡充

解決

京都府プロジェクト

- ①プログラム（行動）
- ②スケジュール
- ③予算
- ④専門人材
- ⑤推進・運用組織
- ⑥成功要件

地域資源 人材

支援政策 協力者

产学連携 技術

企業応援団2704社

特になし

- ・京都府、連合京都、京都経営者協会、労働局（ハローワーク）、京都
市及び京都ジョブパーク推進協議会
参加団体

結果（数値）

- ①府民ニーズに対応した機能拡充と先進的・総合的な取組みの実現
- ・利用者の増加と多数の就職内定を実現
-平成26年度126千人の相談者数（平成19年度からの累積相談者数621千人）、就職内定者9145人H26）3012人（H19）
- ・開拓求人数も大きく増加、22千人を確保

地域の変化

- ・京都JPは就職困難者が行くところとのイメージは良くないが一定の役割を果たしていると評価
- ・企業からは良い人材を紹介戴いたとの評価
- ・個別企業説明会への参加意向も高まる

残る課題

- ・適正評価による社会人基礎力の強化など職業能力・キャリアアップによるミスマッチの解消
- ・人材供給機関としての役割の増大への対応（中小企業を中心に人材不足が著しくなっており、適性に応じた人材育成・供給が必要）

次の行動

- ・「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」活用により専門研修や企業実習などにより実践的な研修機会を多く創出
- ・教育機関と連携したキャリア教育の充実